とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都台東区蔵前 4-16-10
園名	アスクくらまえ保育園

1．活動のテーマ

<テーマ>

国旗について知ろう

<テーマの設定理由>

今年度、行事のテーマが国旗や世界で、子ども達も興味を持っている事、また、園で力を入れている食育にでも、日本の料理や世界の料理をテーマにクッキングや食育授業に取り組んでおり、「国旗」を通して、子ども達が世界について知る機会を作りたいと考えた為。

2．活動スケジュール

11 月から 3 月まで行い、月に 1 度、えいごの講師によるプログラムを通して、探究活動ができるようにした。子どもたちの興味関心をもとに問いかけや内容を考え、子どもたちの反応や言葉によって次回の内容を柔軟に変えていけるようにした。

11 月：アメリカと日本
12 月：6 つの国と国旗の特徴
1 月：国旗の色
2 月：野菜の色塗り
3 月：国旗を作る

3．活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・国旗のえほん…日頃から子ども達が国旗を見たり触れたり出来るよう、すぐ手に取れる保育室内に置く。
・くもんの地球儀…国旗を見比べたり、絵本などを見て気になった国がどこにあるのか見たり出来るようにする為。
・世界のことばあそびえほん…日本語の単語が他の国ではどう言うのか見られるようにする為。
・リングカード国旗…カード式で、めくって国旗を見られるようにする為。
・せかいの図鑑…世界の文化や言語、衣食住について、絵や図を通して見られるようにする為。
・にっぽんの図鑑…日本の文化や言語、衣食住について、絵や図を通して見られるようにする為。

４．探究活動の実践

【3 歳児実施分】

問いを考える：

　最初の導入として、日本とアメリカの２つの国をテーマとして、国旗を知っているか、どんな食べ物や文化があるか考える機会を設けた。また、国旗から様々な色にも興味を持ち、国旗に使われている色について考えてみる。

探究活動の様子：

　はじめは、アメリカと日本どちらに関連するものか、絵カードを見て考えてみる。ハンバーガーなどの絵が見えると、「あっハンバーガーだ。」「ハンバーガーは日本！」とよく食べていることから日本の食文化であると考える子どもが多い様子であった。他、スポーツや象徴などまだ馴染みがなく、少し難しい様子であった。日本とアメリカの違いを知り、今度はえいごの講師の出身や他国旗のカードからアメリカ、日本以外にも沢山国がある事を知る。

　アメリカの国旗の色塗りをすると、国旗の絵本をクラス全体で見ていたので、他の国にも興味を持ち、国旗を知りたいと話す姿が見られた。国旗の色塗りをしたことで、国旗の中に描かれている形や色に興味を持ち、探求する。色にはどんな色があるかの問いかけに、知っている色や保育室にある色を答えていた。国旗には、沢山の色が使われており、その発見を通して、色についても触れ、英語で色を答えられるようになった。国旗を知ったことで、世界や国旗に関する本を積極的に見る姿が見られるようになった。

ふりかえり（保育士の気づき）：

　3 歳児にとっては、国旗はまだ難しいようであったが、すくわくプログラムを通して興味を持ち、進んで絵本や図鑑に親しむ姿が見られるようになったので、良いきっかけとなった。

国についてはまだわからない子も多かったが、色になると知っている単語を言う子も多く、「レッドだよ」「ブルーだよね」と積極的に答える姿が見られたので、知っているものから新しいものを知る事に繋がるのだと感じた。

【4 歳児実施分】

問いを考える：

最初の導入として、日本とアメリカの 2 つの国をテーマとして、国旗を知っているか、どんな食べ物や文化があるか考える機会を設けた。また、国旗から様々な色にも興味を持ち、国旗に使われている色について考えてみる。

探究活動の様子：

日本の国旗は、「赤い丸だよね」「白に赤だよ」と日本の国旗を覚えている子が多かった。
アメリカと日本の 2 つの国の文化や食べ物、象徴のカードをどちらの国のものか分けてみる。また、絵本や図鑑を通して、世界にはまだまだ沢山の国があることを知る。「ジャパン」「カナダ」などは、発音もしやすいようで、すぐに覚えて繰り返し言っていた。そこから「カナダって〇〇が人気なんだって」と象徴などにも興味を持ち、絵本や図鑑に親しんでいた。

アメリカの国旗の色塗りでは、〇〇色にしようと絵本や図鑑を見ながら、真似して塗る子どもと自由に自分の好きな色で塗る子どもがいた。国旗には、様々な色が使われており、色にも興味を持ち、探求する。赤は英語でレッドと言うことから、色の単語が分かり、単語と同じ色を探そうとする。また、色の単語を覚えたことで、好きな色を聞かれた際にはどうやって答えたら良いかを知る。

ふりかえり（保育士の気づき）：

子どもたちにとって、元々国旗は、馴染みがあり、はじめから名前を知っている国も多かったが、国旗までは知らない子が多い様子であった。国旗には、様々な色が使われており、国旗で使われている形や色から、今度は色にも興味を持ち、英語で色を発音したり、室内でその色を探求したりする事が出来た。

【5 歳児実施分】

問いを考える：

最初の導入として、日本とアメリカの 2 つの国をテーマとして、国旗を知っているか、どんな食べ物や文化があるか考える機会を設けた。また、国旗から様々な色にも興味を持ち、国旗に使われている色について考えてみる。また国旗の色から知っている国旗を探してみる。

探究活動の様子：

日本の国旗には、馴染みがあり、知っているか問われると、ほぼ全員が答えていた。アメリカの国旗については、はっきりとした色や形ではないが、「わかるよ」と答え、特徴を説明しようとする子が多くいた。アメリカと日本の 2 つの国の文化や食べ物、象徴のカードをどちらの国のものか分けてみる。子どもたちにとっては、アメリカのものも日本のものも馴染みがあるようで、5 歳児クラスでも、少し混同して答える姿が見られた。

次にアメリカと日本以外にも沢山の国があることを知る。それぞれの国旗を絵本や図鑑を通して知り、国旗に描かれている形や特徴を自ら描こうとする子もいた。その中で〇〇色を使っている国が多いねと話し、色にも興味を持つ。色をそれぞれの単語で言ってみる。一度聞くと、すぐに覚えて、単語の色と同じ色を身の回りの中で探してみる。

色の単語が分かり、同じ色を揃えたり、単語を聞いて同じ色のものを探したりすることが出来ていた。

色の単語を言えるようになり、好きな色を自分で英語で答えられるようインタビューごっこをする。どの子も、構文を覚え、堂々と答える姿が見られた。

ふりかえり（保育士の気づき）：

今回、3.4.5 歳児が同じ国旗をテーマに探究活動を行ったが、5 歳児はすでに国旗や国について沢山の知識があり、そこから派生して様々な視点で考えていくことが出来、大変良かったと思う。

大人は、国旗の色や形は、こういうものと思っているが、子ども達は、「どうしてこの形なんだろう」、「面白いね」「変な形～」と思い思い感じたことを話しており、探究活動の幅を広げられるように保育者側も学んでいきたい。